

令和2年度 鶴岡市企業経営課題調査

鶴岡市商工観光部商工課

令和2年7月17日

この調査は、従業員10人以上の製造業企業、工業団地の立地企業、サイエンスパーク及び先端研究産業支援センター入居企業を対象に今年の4月に実施しました。従業員数や企業の景況感、経営課題、強化したい取組み等について調査しています。

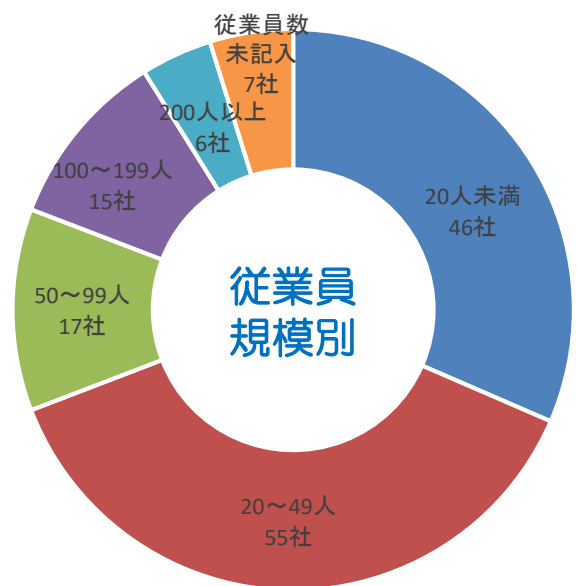
調査対象企業基礎データ

○ 調査対象 従業員数10名以上の製造業を営む企業及び市内11工業団地内の企業、サイエンスパーク及び先端研究産業支援センター入居企業

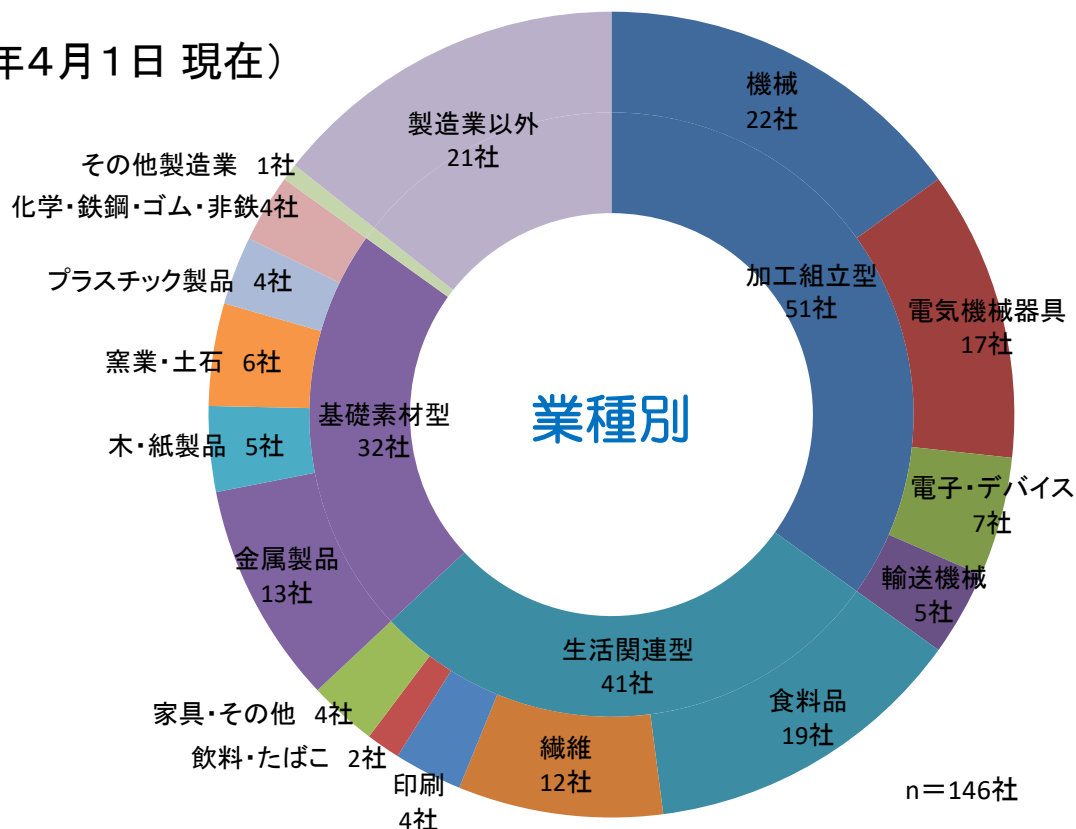
※サイエンスパーク及び先端研究産業支援センター入居企業は今回から対象に含めた。

○ 回答状況 **146社/227社(回答率64.3%)**

○ 調査時期 令和2年4月 (令和2年4月1日 現在)



n=146社



n=146社

概況

1. 雇用状況について

- ◆ おおむね正社員(管理職含)は8割、非正規雇用者は2割。
- ◆ 従業員数の多い企業は、正社員(一般職)割合が高いが、管理職の割合が低い傾向にある。
- ◆ 契約社員・派遣社員の比率は、従業員数100人以上の企業でもっとも高く、パート・アルバイトの比率は従業員数20人以上50人未満の企業がもっとも高い。
- ◆ 派遣社員は加工組立型の企業に多く、パート・アルバイトは生活関連型の企業に多い。
- ◆ 正社員の65%が製造部門に従事している。
- ◆ 研究開発・設計従事者は、従業員数100人以上の企業で比率が高い。
- ◆ すべての職種で、女性の人数が男性を下回っているが、研究開発・設計の男女差が大きい。
- ◆ 男性では従業員数100人以上及び20人以上50人未満の企業において40代の割合がもっとも高く、従業員数50人以上100人未満及び20人未満の企業において50代の割合がもっとも高い。
- ◆ 女性では従業員数100人以上及び20人以上50人未満の企業において40代の割合がもっとも高く、従業員数50人以上100人未満及び20人未満の企業において50代の割合がもっとも高い。
- ◆ 女性の40代以下の年齢構成は産業によって傾向に大きな差がある。

2. 経営課題について

「従業員の高齢化・技能伝承」は昨年同様高くなっている。

「受注量の減少」が大幅に増加している。

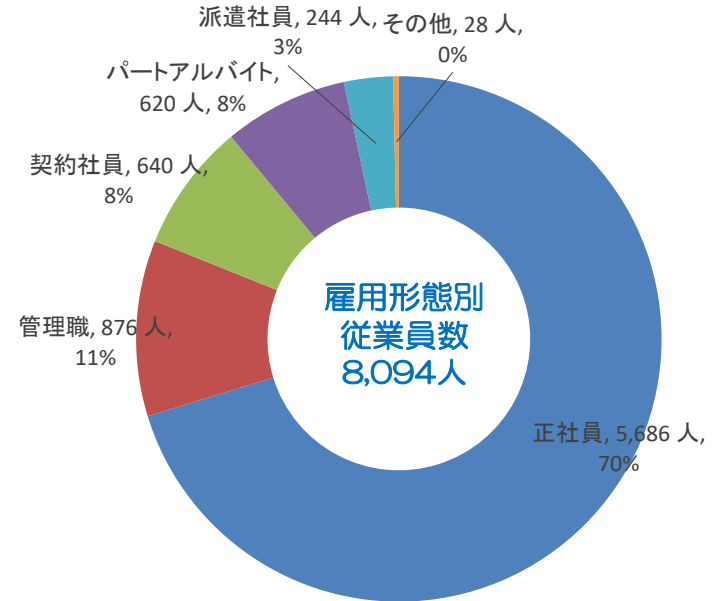
経営課題への対策として、昨年に引き続き、「人材育成」が特に重要となっている。

強化したい取り組みとして、「人材育成・技能伝承」の取り組みが引き続き高い比率となっている。

従業員の雇用形態

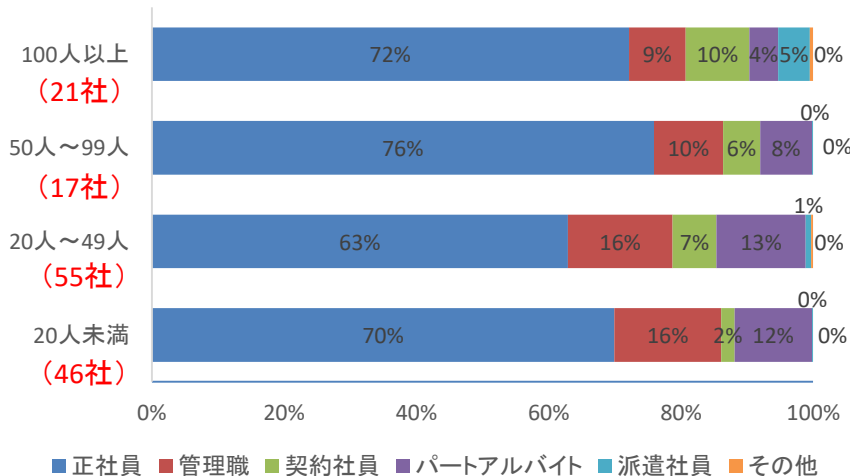
※昨年度と回答企業が同一でないことや、すべての企業が回答しているものでないことから、規模別・産業類型別の従業員の人数の変化及び構成割合の変化については数値化しない。

- ◆おおむね正社員（管理職含）は8割、非正規雇用者は2割。
- ◆従業員数の多い企業は、正社員（一般職）割合が高いが、管理職の割合が低い傾向にある。
- ◆契約社員・派遣社員の比率は、従業員数100人以上の企業がもっとも高く、パート・アルバイトの比率は従業員数20人以上50人未満の企業がもっとも高い。
- ◆派遣社員は加工組立型の産業に多く、パート・アルバイトは生活関連型に多い。

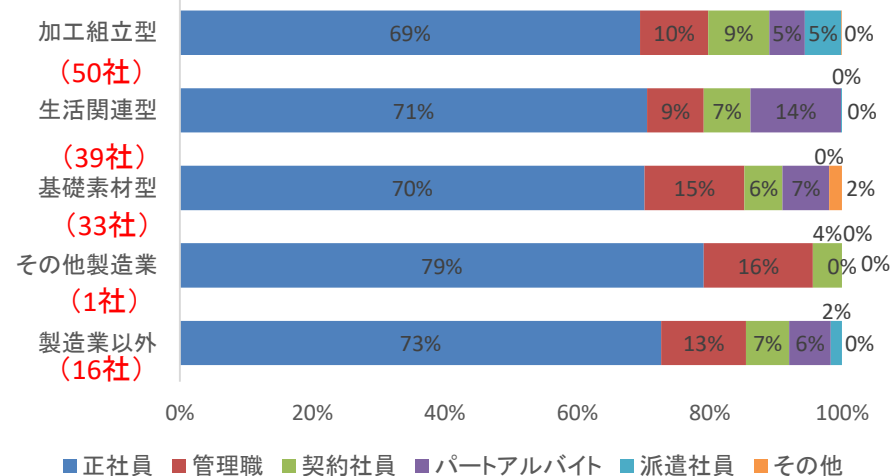


【従業員規模別】

※回答146社のうち7社が従業員数未記入

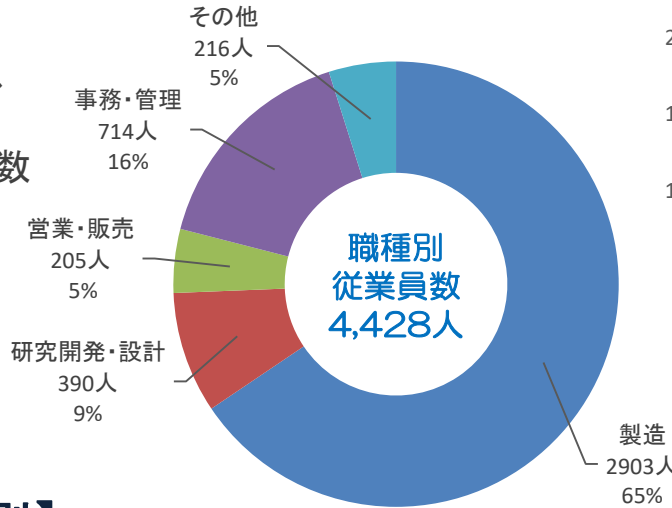


【産業類型別】

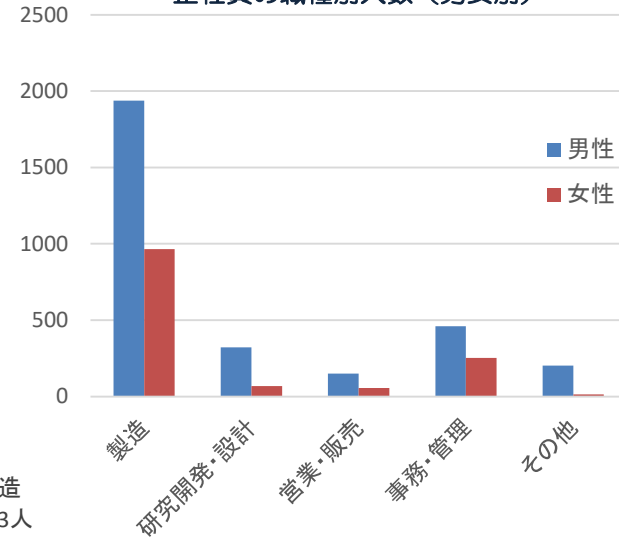


正社員の職種

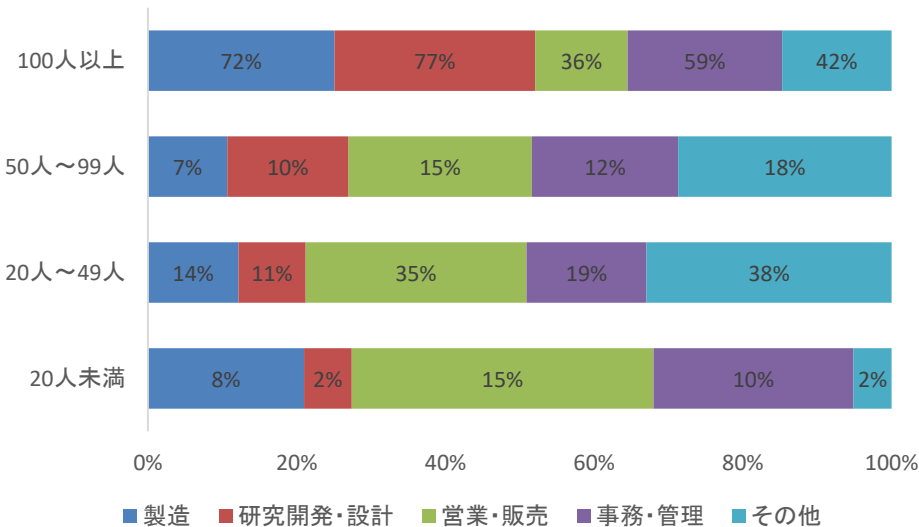
- ◆正社員の65%が製造部門に従事している。
- ◆研究開発・設計従事者は、従業員数100人以上の企業で比率が高い。
- ◆すべての職種で、女性の人数が男性を下回っているが、研究開発・設計の男女差が大きい。



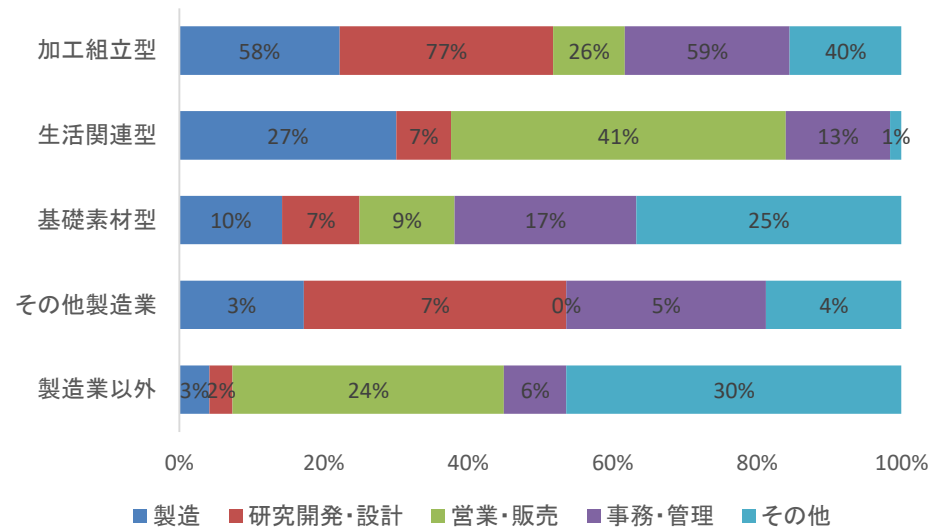
正社員の職種別人数（男女別）



【従業員規模別】



【産業類型別】

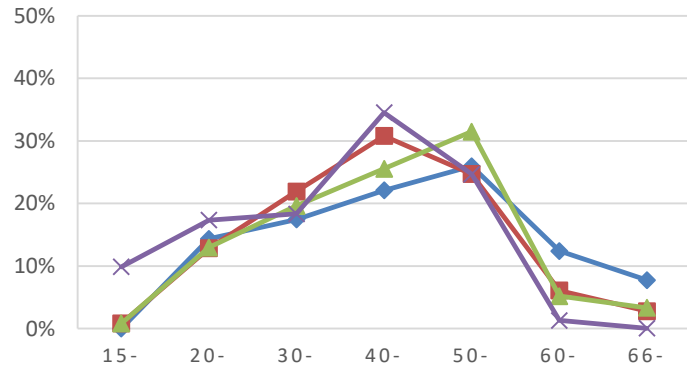


正社員の年齢構成

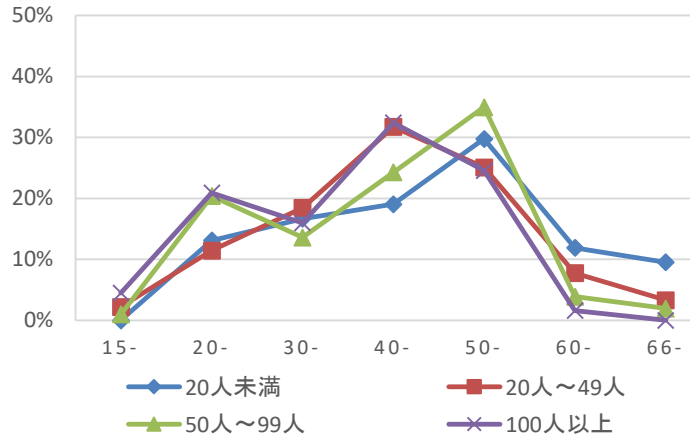
- ◆男性では従業員数100人以上及び20人以上50人未満の企業において40代の割合がもっとも高く、従業員数50人以上100人未満及び20人未満の企業において50代の割合がもっとも高い。
- ◆女性では従業員数100人以上及び20人以上50人未満の企業において40代の割合がもっとも高く、従業員数50人以上100人未満及び20人未満の企業において50代の割合がもっとも高い。
- ◆女性の40代以下の年齢構成は産業によって傾向に大きな差がある。

【従業員規模別】

男性

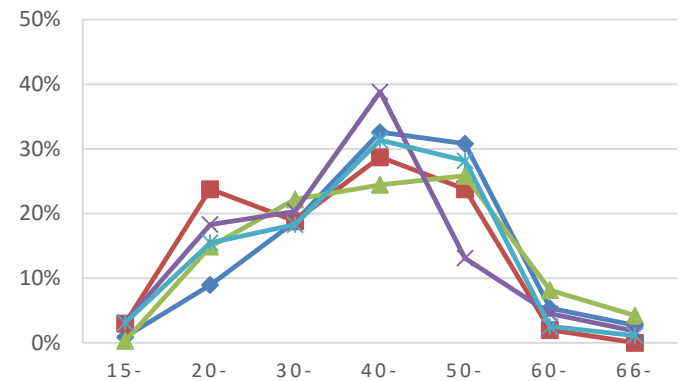


女性

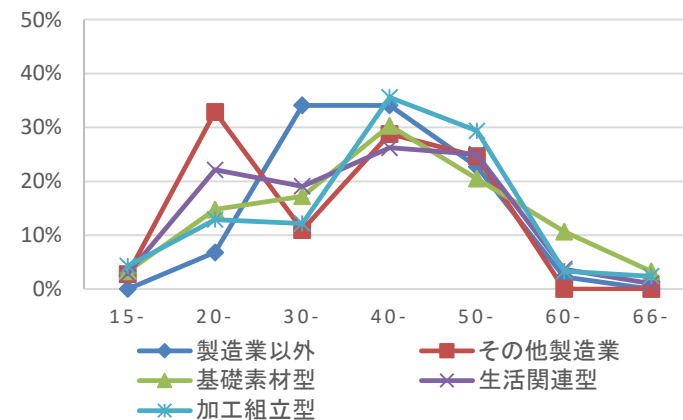


【産業類型別】

男性



女性

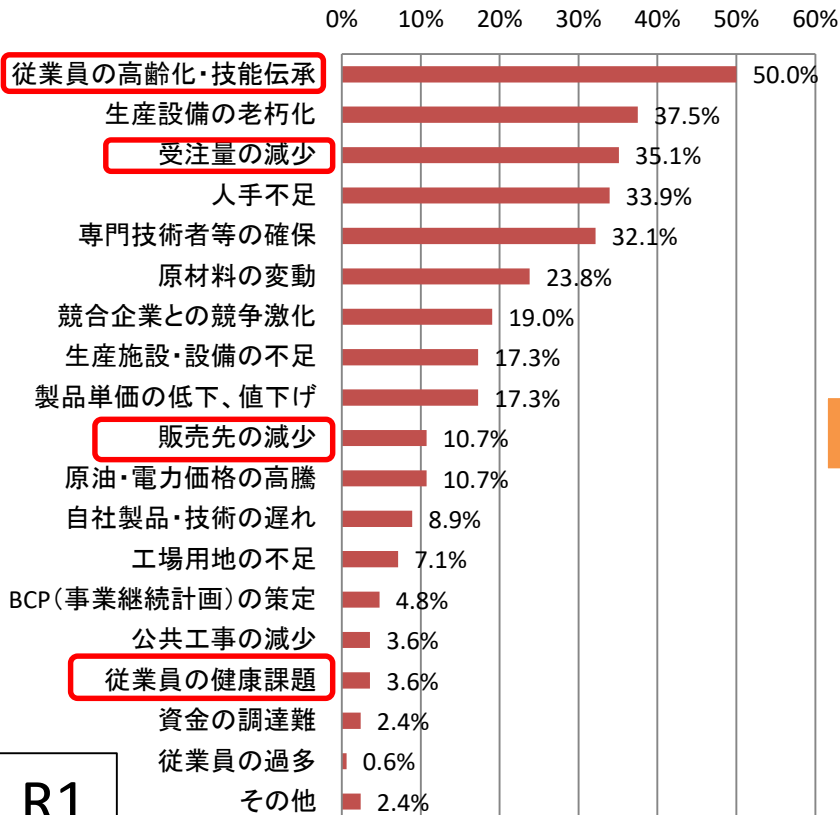


現在の経営上の課題（昨年度比）

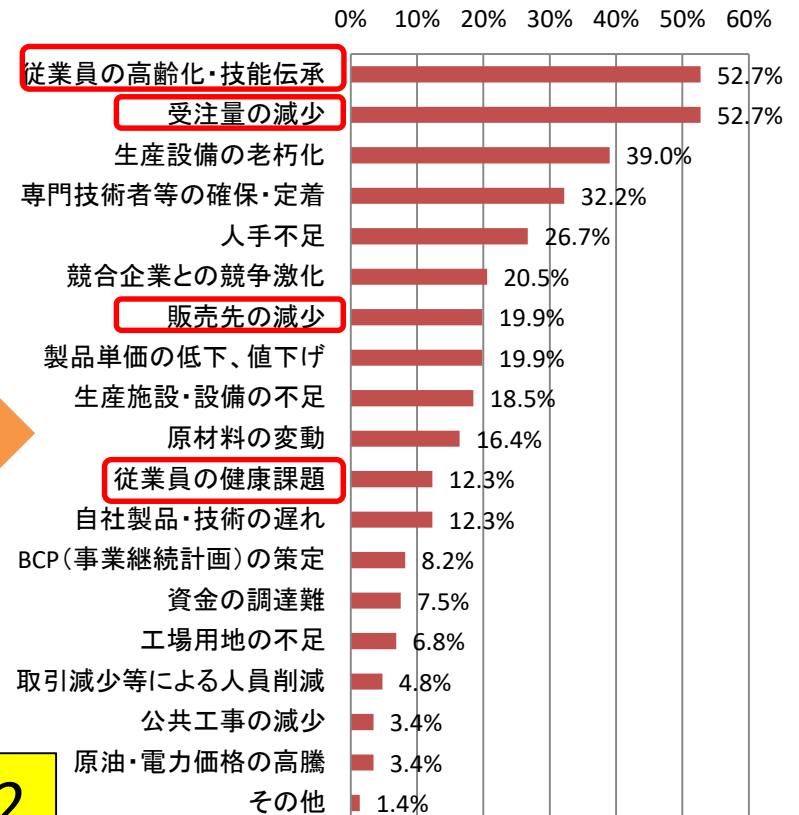
「従業員の高齢化・技能伝承」は昨年同様高くなっている。

「受注量の減少」が大幅に増加している。35.1%→52.7%(昨年度比+17.6%)

昨年度比で変動幅が大きかったものは、「受注量の減少」(+17.6%)、「販売先の減少」(+9.2%)、「従業員の健康課題」(+8.7%)が挙げられる。



R1



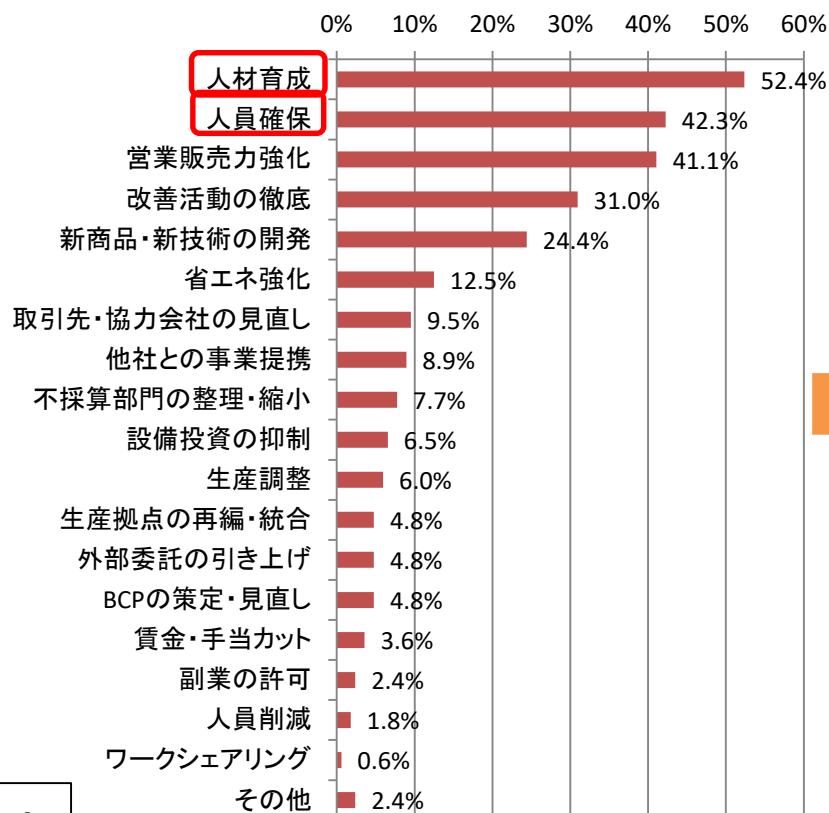
R2

経営課題への対策(昨年度比)

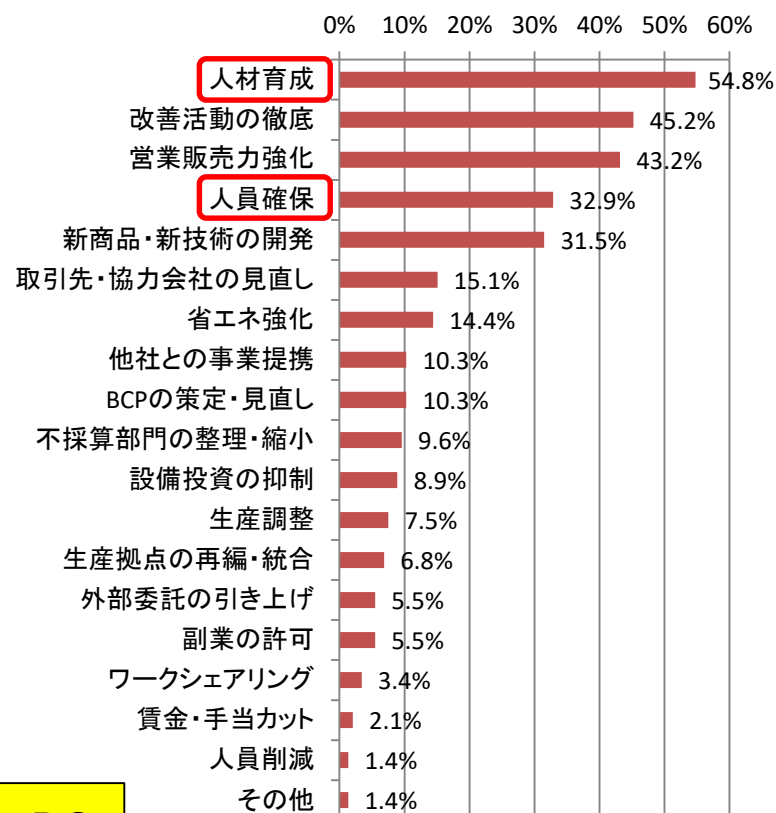
経営課題への対策として、昨年に引き続き、「人材育成」(昨年度比+2.4%)が特に重要となっている。

◆上位5項目は、「人員確保」のみ比率が低下している。(昨年度比△9.4%)

◆下位の項目の比率は全体的に増加傾向にある。



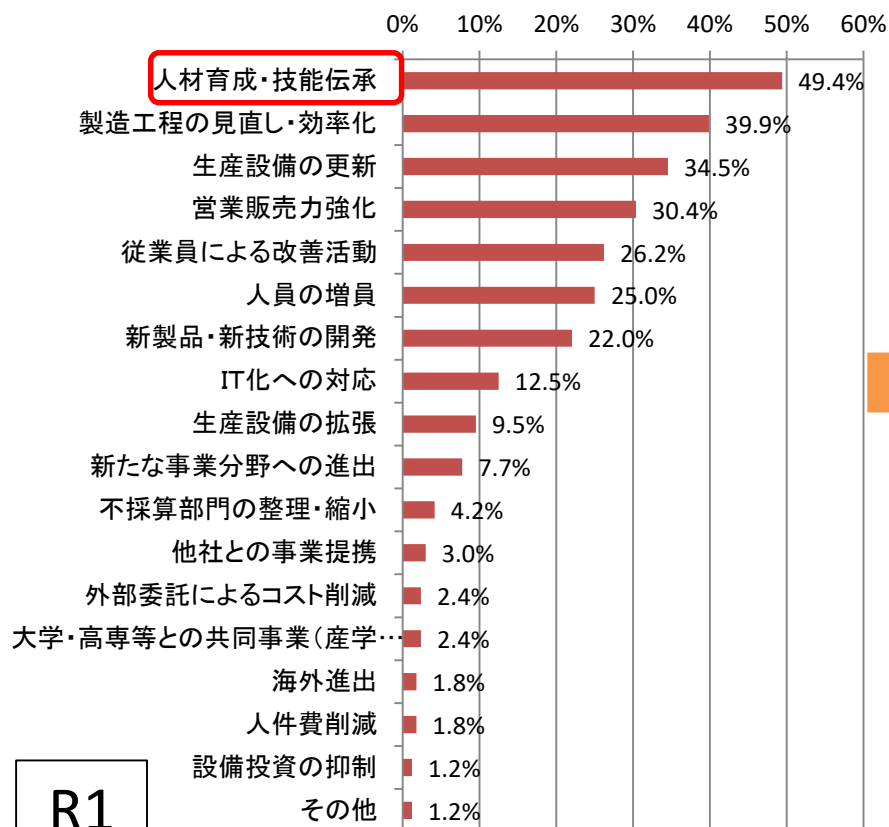
R1



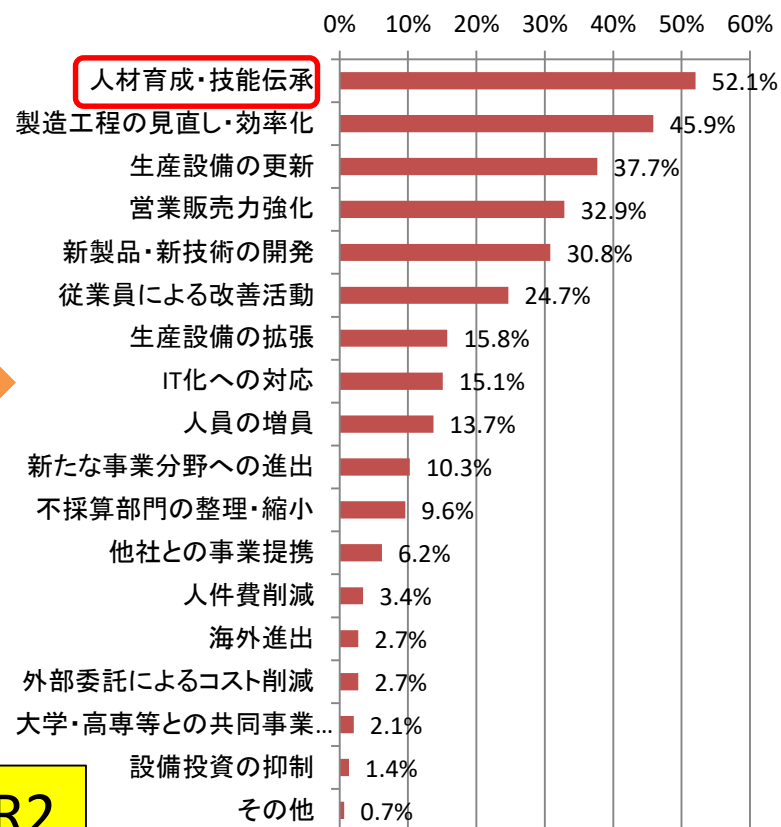
R2

強化したい取り組み(昨年度比)

強化したい取り組みとして、「人材育成・技能伝承」の取り組みが引き続き高い比率となっている。



R1



R2

令和2年度鶴岡市企業経営課題調査

鶴岡市商工観光部商工課

〒997-8601 山形県鶴岡市馬場町9番25号

TEL 0235-25-2111

FAX 0235-25-7111

E-mail shoko@city.tsuruoka.yamagata.jp

※小数点以下第1位を四捨五入して標記しているため、一部グラフにおいて合計が100%にならない場合があります。